



行動経済学会ポスター報告奨励賞

(2018年12月8日・9日開催第12回大会)

行動経済学会では2010年大会より、行動経済学研究の発展と若手研究者の育成・顕彰を目的として「行動経済学会奨励賞」を設け、さらに2017年大会より、ポスター報告も対象として「行動経済学会ポスター報告奨励賞(一般部門)」と「行動経済学会ポスター報告奨励賞(学部生部門)」を設けました。

一般部門12件と、学部生部門15件を厳正に審査した結果、今回は以下の通り、一般部門は、上島 淳史(東京大学大学院,日本学術振興会)、大貫 祐大郎(東京大学大学院)、黒川 博文(同志社大学,日本学術振興会)、学部生部門は金本 英之(近畿大学)、菊池 淳一(横浜市立大学)、佐藤 大雅(成城大学)、西村 優衣(近畿大学)、山田 裕可子(成城大学)に決定しましたので、ご報告申し上げます。

学部生部門の授賞式は第12回大会で執り行われました。

なお、一般部門の授賞式は次期大会で執り行う予定です。



【行動経済学会ポスター報告奨励賞(一般部門)受賞者】

受賞者：上島 淳史(東京大学大学院,日本学術振興会)

報告論文：社会的分配をめぐる合意形成の経験は平等原理とマキシミン原理の
区別を促すか：二者間での相互作用場面を用いた実証研究

共著者：亀田 達也(東京大学大学院)

受賞者：大貫 祐大郎(東京大学大学院)

報告論文：リスク志向・回避の傾向は評価方法で変化する：信念モデルベース
によるリスク態度変化の認知プロセス分析

共著者：本田 秀仁(安田女子大学)、
松香 敏彦(千葉大学)、
植田 一博(東京大学大学院)

受賞者：黒川 博文（同志社大学, 日本学術振興会）

報告論文：内集団バイアスと競争選好

共著者：奥平 寛子（同志社大学），
木成 勇介（甲南大学），
大竹 文雄（大阪大学）



【行動経済学会ポスター報告奨励賞(学部生部門)受賞者】

受賞者：金本 英之（近畿大学）

報告論文：外見と手間の返報性

共著者：金澤 優太（近畿大学），
河崎 将吾（近畿大学）

受賞者：菊池 淳一（横浜市立大学）

報告論文：The Formation of Inflation Expectations: Micro-data Evidence
from Japan

共著者：中園 善行（横浜市立大学）

受賞者：佐藤 大雅（成城大学）

報告論文：“幾らでも”より“1円から”，2人の一葉より1人の諭吉：最低金額
のアンカリング効果における数値の影響

共著者：田中 楽久（成城大学），
堂下 悠太（成城大学），
中村 國則（成城大学）

受賞者：西村 優衣（近畿大学）

報告論文：携帯電話契約の要因に関する選択実験

共著者：山田 彩音（近畿大学）

受賞者：山田 裕可子（成城大学）

報告論文：命の価値をトロッコで量る：道徳のジレンマを用いた検討

共著者：飯村 美里（成城大学），

北樋口 愛海（成城大学），

中村 國則（成城大学）

